

【佐世保港】更なるクルーズ需要への対応

○官民が連携し効率的に施設整備を行い、国際旅客船の受入を促進するため、2017年に「官民連携による国際クルーズ拠点形成計画書(目論見)」に応募し、「国際旅客船拠点形成港湾」に指定。

＜佐世保港国際旅客船拠点形成計画＞

協定	佐世保市、カーニバル・コーポレーション & PLC(カーニバル社)
国際クルーズ拠点形成の目標	東アジアに近い地理的優位性を生かし、カーニバル社とともに日本に寄港するクルーズのゲートウェイ機能を有した拠点港として発展していくことを目指す。
寄港回数目標	運用開始年(2020年): 295回 目標年(2024年): 395回

◆三浦地区

○16万トン級クルーズ船に対応するための岸壁を2018年7月供用開始。

佐世保港三浦地区

岸壁延伸部を2018年7月に供用開始

JR佐世保駅

JR佐世保線

西九州自動車道

ハウステンボス

◆浦頭地区

○カーニバル社が、東アジアクルーズの日本における拠点港として優先的に使用予定。

◆岸壁
(14万トン級対応(計画))

◆旅客ターミナルビル<カーニバル社>
カーニバル社がCIQ施設を備えた旅客ターミナルビルを整備。

佐世保港浦頭地区

整備主体

- 国土交通省: [岸壁、泊地]
- 佐世保市: [駐車場、道路等]
- カーニバル社: [旅客ターミナル]

岸壁(-10m)370m

泊地(-10m)

旅客ターミナル(新設)

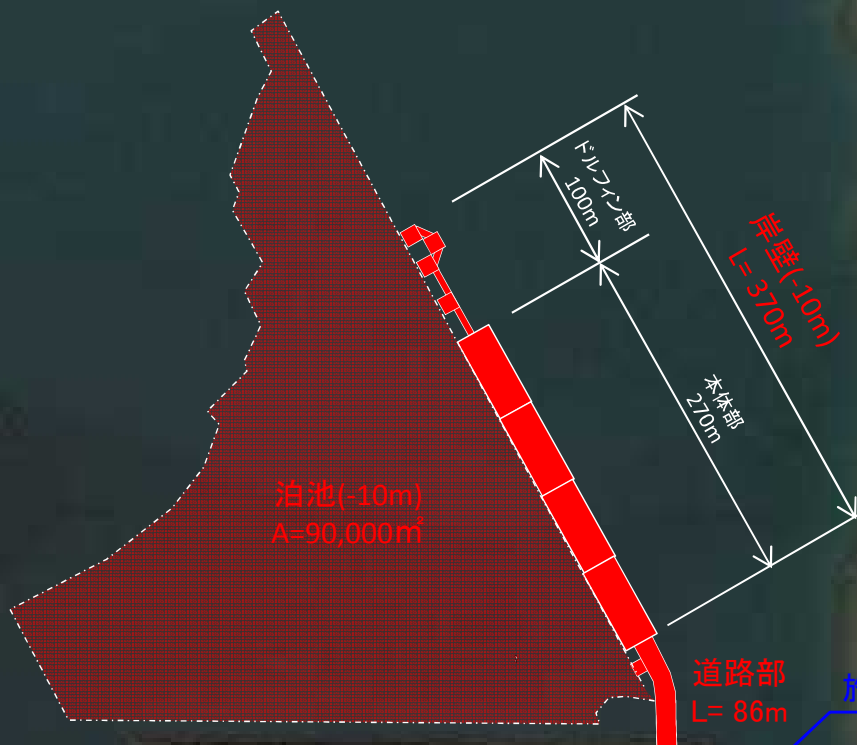
4車化区間

4車化区間

駐車場

【佐世保港】(浦頭地区)官民連携による国際クルーズ拠点形成 国土交通省

- 佐世保港ではクルーズ船寄港が急増 (2013年:1回 ⇒ 2018年:110回見込み) ※長崎県観光連盟HPより12月1日時点
- さらに大型化も進行 (2017年:10万ト级以上0回 ⇒ 2018年:10万ト级以上4割見込み) ※長崎県観光連盟HPより12月1日時点
- 浦頭地区に14万ト级以上クルーズ船を対象に新たな岸壁を整備し、今後のクルーズ船の寄港需要に対応
- 岸壁と泊地は国、駐車場と道路等は佐世保市、旅客ターミナルはカーニバル社がそれぞれ役割を担って整備。



整備主体

- 国土交通省: [岸壁、泊地]
- 佐世保市: [駐車場、道路等]
- カーニバル社: [旅客ターミナル]

供用開始予定 2020年(平成32年)4月

